

謹賀新年



「明けまして
おめでとう
ございます」

大和郡市長

上田 清

昭和100年そして戦後80年という大きな節目となる令和7年。この新年をみなさまはどのように迎えられるのでしょうか。

今年は巳年ですが、人々は古くから生命力の強い蛇に、再生や復活の思いを託してきました。

同じく巳年の1989年、この年に昭和から平成へと元号が変わり、戦後社会の転換点とも言われましたが、世界を見ても、同年11月にいわゆるベルリンの壁が崩壊したことにより東西ドイツの統一への動きがスタートするとともに、翌12月にはアメリカのブッシュ大統領とソビエト連邦のゴルバチョフ書記長が地中海のマルタ島で会談し「冷戦の終結」を宣言、戦後世界も同じく大きな転換点を迎えています。

それから36年。ロシアによるウクライナへの侵略の長期化、中東をめぐる情勢、シリアアサド政権の崩壊、韓国内政問題など、そしてまもなく始まるアメリカトランプ政権と再び大きな転換点を迎えたような気がします。

そうした中、昨年末、ノーベル平和賞に輝いた日本原水爆被害者団体協議会のこれまでの粘り強い活動に心から敬意を表するとともに、そのことを踏まえつつ、アジアやあるいは世界の中でわが国はどう生きていくか考えなければならない時代を迎えたとも言えるのではないのでしょうか。

平和のシンボル、金魚が泳ぐ城下町。

平和の有り難さを噛みしめながら、世界の動きを見つめていきたいと思います。

さて、大河ドラマ『豊臣兄弟!』(NHK)の放送も来年に迫ってきました。

すでに『秀長さんプロジェクト推進協議会』も立ち上がり、準備を進めていますので、ご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

ふと思いました。『豊臣兄弟!』の「!」にはどのような思いが込められているのでしょうか。

この3月には郡山城跡公園の再整備も完了する予定です。城跡公園や天守台展望施設などで「!」に思いを寄せていただければ幸いです。



「新年を迎えて」

大和郡山市議会議長

西川 貴雄

新年明けましておめでとうございます。

市議会を代表いたしまして、謹んでごあいさつを申し上げます。

昨年は、市制70周年の節目の年でございました。様々な記念事業をとおして、当市と市民の皆様がそれぞれの目指す未来へ思いをはせ、この先の1年1年を実りあるものとする決意をあらたにしたところがございます。

また、柳澤吉里公が大和郡山へ入部されて300年の節目の年でもありました。江戸時代1724年(享保9年)甲府城主である柳澤吉里公が大和郡山市に城替えを命ぜられ、その柳澤吉里公の郡山入部以来、大和の経済と文化の中心地として繁栄を続け、現在の大和郡山市があるのでございます。これまでの歴史を振り返るとともに、本市の未来がさらに発展することを願っております。

また、近年は国内でも予期せぬ自然災害が起こり、昨年正月には能登半島地震が発生いたしました。市議会では、安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて、市当局と連携を深めながら、最善の努力をしまっている所存でございます。

市議会といたしましても、市民の皆様のより多くの声を聞き寄り添い、健康で明るく元気に暮らしていけるよう、より豊かな地域社会を実現するため、行政と連携し市政運営に努力してまいります。

結びに、本年も市民の皆様の変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願いいたしますとともに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。